



シクリスムエコーNo.114 2004年12月号

第10回全日本シクロクロス選手権	2
2004 日韓対抗学生自転車競技大会	4
2004年世界室内自転車競技選手権	6
第35回全日本室内選手権自転車競技選手権	7
ツール・ド・おきなわ2004	8
UCIトラック・ワールドカップ第1戦 モスクワ大会	9
UCIトラック・ワールドカップ第2戦 派遣選手団	9
2004年 ACCトラック・アジアカップ 派遣選手団	9
2004 MTB ランキング	10
競技大会結果	15
(財)日本体育協会公認B級コーチ養成専門科目講習会	16
アンチ・ドーピング検査規則に係る処分について	16
国体10回出場者表彰 / 柴崎 淳 WCCに入学	16
CCC修善寺トレーニングキャンプ / 連盟の動き	16

第10回 全日本シクロクロス選手権

START



エリート男子のスタート



障害物を乗り越える辻浦



一時は辻浦に肉薄した小坂



終始先頭を保持した辻浦



1周目、山本を標的に捉えた小坂



エリート女子のスタート



真下



真下、ブッチギリのフィニッシュ



エリート女子の表彰

[競技結果]

(12/12 富山・砺波)

Elite Men (17.69km)

1	辻浦 圭一	ブリヂストンアカ	1:03:34
2	小坂 正則	スコレーシング	+1:28
3	山本 幸平	キャンデー・ルキス	+4:46
4	内山 靖樹	ミヤスバル	+4:54
5	浜 久之	スコレーシング	+5:44
6	澤田 泰征	テントウムシ	+6:09
7	山本 聖吾	チームト'味	+7:26
8	丸山 厚	スコレーシング	+7:43
9	入江 克典	スマート'リンク	+7:59
10	山辺 誠司	チームサイタマケッツ	+8:43

Elite Women (8.99km)

1	真下 正美	SY-Nak	39:56
2	田近 郁美	BRIDLER	+2:10
3	深井 薫	GARY FISHER	+3:47
4	豊岡 英子	bicinoko.com	+3:48
5	志村みち子	アズ'ミ	+5:54
6	酒井 真清	Testach Racing	+8:45
7	伊藤真里子	チームパ'ン	+10:37
8	長井 美香	FUN RIDE GANG	+13:13
9	藤野むつみ	TEAM VOLCA	-1lap



エリート男子の表彰

2004 日韓対抗学生自転車競技大会



'95年10月にソウルオリンピックスタジアムで始まったこの大会も、今回でちょうど10回目の節目を迎えた('95から'01は日韓親善学生自転車交歓競技大会)。この大会は日本と韓国それぞれ交互に主催されており、今年は日本が主催国となり北九州メディアドームで開催された。

北九州と韓国とは異国ながら目と鼻の先であり、距離だけを考えるならば東京よりも遥かに近い位置関係にある。釜山港からフェリーでわずか3時間半(今回選手団は釜山とソウルの2陣に別れ、空路福岡入りしているが)の北九州市は韓国からの観光客も多く、街の主たる看板にはハングル文字が併記されているほどだ。またメディアドームは国内では屈指の設備を誇る室内自転車競技場で、韓国選手団を招待して「日韓親善戦」が行なわれる場所としては最高の条件が揃っていると言えよう。

ただし、本大会が「日韓対抗戦」であるという観点で評価すると、手放しては絶賛できない。参加選手は両国とも男子大学生が5名、男子高校生が5名、それに女子高校(大学)生5名の15名で、日本においてはインカレ、インターハイ等の大会で好成績を挙げた選手が選出される。大学、高校、女子それぞれのクラスで競走が行なわれるから、わずか5名の選手でスプリント、TT、個人追抜き、団体追抜き(チームスプリント)ケ

イリン、ポイントレース(男女とも大学、高校混走)をこなさなければならない。従って選手は専門外の種目も走る必要があり、団体追抜きは中盤までに1車は脱落するし、ポイントレースに至ってはそもそもレースとしての形にならない(それなりに楽しめるというのもまた事実であるが)。親善交歓競技であるならばそれでも良いだろうが、対抗戦であるというならばこれがあるべき姿とは思えない。

また両国30名の出場選手でありながら、9:00から18:00過ぎまでというロングランな競技進行も、非常に冗長なものであった。対抗戦なのだから、例え

ばスプリントならば予選を廃し、韓国選手と日本選手で対戦する1/2決勝(1回戦制)からということでも良いだろう。選手の負担を考え、当初50分の予定だった昼食休憩が1時間20分に延長されたということもあるが、これでは選手だけではなく韓国から迎えた応援団の疲労や負担もかなりのものであったと思う。

競技運営にばかり行を裂いてしまったが、競技内容にも触れねばなるまい。別項の競技結果の通り、今年は韓国勢に明らかに水を掛けられた結果となった。今まで書いてきたように本当の意味での対抗戦ではないので、これが現在の両国の力関係を表しているとは思えないが、スプリントの予選も含めタイム勝負の多くで先を越されているのは気になるところだ。決して安穩としてはいられない結果であったとは言えよう。

苦言ばかり呈してきたが、今大会が非常に限られた予算の中無事開催されたことは特記すべきことで、関係各位の努力には敬意を表したい。とかく色々取り沙汰される日韓関係であるが、スポーツ競技を通じて友好親善を図るという趣旨は誇るべきで、この大会が更に継続発展を遂げることににより両国関係もまた更なる発展に繋がることを期待したい。(村田 隆宣)



[競技結果]

男子大学1kmタイムトライアル

- 1 李 明顯 KOR 成和大学 1:06.040
- 2 川村 崇 JPN 早稲田大学 1:08.775
- 3 中村 健志 JPN 日本大学 1:09.242
- 4 鄭 才玩 KOR 韓国体育大 1:09.400

男子高校1kmタイムトライアル

- 1 片折 亮太 JPN 鳩山高校 1:06.968
- 2 李 珍優 KOR 大邱体育高 1:07.178
- 3 金 台東 KOR 陰城高校 1:07.298
- 4 中野 彰人 JPN 和歌山北高 1:09.557

女子500mタイムトライアル

- 1 遠藤 友子 JPN 鹿屋体育大 37:721
- 2 柳 真亞 KOR 全南美容高 38:057
- 3 佃 咲江 JPN 北見大学 38:805
- 4 孫 熙貞 KOR 慶北体育高 38:970

男子大学ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 李 昱東 KOR 韓国体育大学
- 2 李 明顯 KOR 成和大学
- 3 川村 崇 JPN 早稲田大学
- 4 中村 健志 JPN 日本大学

男子高校ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 東矢 昇太 JPN 東海大学第二高校
- 2 柳 在烈 KOR 大邱体育高校
- 3 李 珍優 KOR 大邱体育高校
- 4 中野 彰人 JPN 和歌山北高校

女子ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 篠崎 新純 JPN 明治大学
- 2 柳 真亞 KOR 全南美容高校
- 3 金 須賢 KOR 全南美容高校
- 4 岡 希美 JPN 前橋育英高校

男子大学4km個人追抜競走

- 1 禹 承國 KOR 安東大学 4:55.296
- 2 西村 行貴 JPN 日本大学 4:55.773
- 3 鄭 才玩 KOR 韓国体育大 4:57.780
- 4 柴田 祐也 JPN 法政大学 5:01.102

男子高校3km個人追抜競走

- 1 欣 東勲 KOR 東和高校 3:29.191
- 2 奥田 賢司 JPN 榛原高校 3:42.393
- 3 李 享柱 KOR 東和高校 3:43.706

- 4 遠藤 邦明 JPN 東北高校 3:44.457

女子2km個人追抜競走

- 1 河 善賀 KOR 周体女子高 2:40.173
- 2 萩原麻由子 JPN 伊勢崎女子 2:41.551
- 3 金 裕璃 KOR 陰城高校 2:46.592
- 4 佃 咲江 JPN 北見大学 2:49.171

男子ケイリン

- 1 李 昱東 KOR 韓国体育大学
- 2 東矢 昇太 JPN 東海大学第二高校
- 3 李 明顯 KOR 成和大学
- 4 柳 在烈 KOR 大邱体育高校
- 5 川村 崇 JPN 早稲田大学
- 6 鈴木雄一朗 JPN 日本大学

男子ﾊﾞｲﾄﾚｰｽ

- 1 西村 行貴 JPN 日本大学 50 p
- 2 欣 東勲 KOR 東和高校 44 p
- 3 中村 健志 JPN 日本大学 29 p
- 4 鄭 才玩 KOR 韓国体育大学 28 p
- 5 李 珍優 KOR 大邱体育高校 18 p
- 6 柴田 祐也 JPN 法政大学 13 p

女子ﾊﾞｲﾄﾚｰｽ

- 1 金 須賢 KOR 全南美容高校 23 p
- 2 萩原麻由子 JPN 伊勢崎女子高校 13 p

- 3 金 裕璃 KOR 陰城高校 11 p
- 4 河 善賀 KOR 周体女子高校 6 p
- 5 佃 咲江 JPN 北見大学 3 p
- 6 岡 希美 JPN 前橋育英高校 1 p

男子大学団体追抜競走

- 1 KOR 李・鄭・徐・禹 4:32.026
- 2 JPN 川村・柴田・西村・中村 4:33.887

男子高校ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 KOR 柳・李・金 1:16.487
- 2 JPN 東矢・中野・片折 1:18.469

女子ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 KOR 河・金・孫 1:27.849
- 2 JPN 遠藤・篠崎・岡 1:28.608

国別対抗優勝

女子：韓国 高校：韓国 大学：韓国
総合優勝：韓国（90点）

個人表彰：優秀選手

女子：金 須賢 KOR 全南美容高校
男子：欣 東勲 KOR 東和高校

個人表彰：敢闘選手

女子：遠藤 友子 JPN 鹿屋体育大学
男子：西村 行貴 JPN 日本大学

大会概要

- 期 日 2004年11月14日
会 場 福岡・北九州メディアドーム(400mバンク)
主 催 (財)日本自転車競技連盟
日本学生自転車競技連盟
(財)全国高等学校体育連盟自転車競技専門部
共 催 韓国学生サイクル連盟
北九州市
後 援 北九州市教育委員会
(財)北九州コンベンションビューロー
福岡県自転車競技連盟

末永くお付き合いいただくために。



シマノ製品をご愛用いただきまして

ありがとうございます。

シマノではユーザーの皆様へ、当社製品と

末永くお付き合いいただけるよう、

各種補修用パーツをご用意しております。

- 製品についている取扱い説明書をご使用前に必ずお読みください。
- 機能保証のために分解できないパーツもあります。
- お近くの自転車店でご相談下さい。別途送料がかかる場合があります。
- 在庫状況により、品切れの場合もあります。予めご了承下さい。

SHIMANO

www.shimano.com

XBC001-A

2004年世界室内自転車競技選手権

2004年世界室内自転車競技選手権が、11月19日～21日の3日間、ハンガリー北部の町、タタ(Tata)で開催された。選手団は、まずフランクフルトのスポーツ学校で3日間の調整合宿を行った。このスポーツ学校はドイツにおけるスポーツ育成センターのような施設で、さまざまな種目のドイツ代表チームなどが合宿に利用している。

サイクルフィギュアは、週末にドイツのジュニア代表チームが来て、一緒に練習でき、本場の練習を見ることができた。そして、ジュニアナショナルコーチのハイケ・マークラインが的確なアドバイスをしてくれたので、充実した調整ができた。サイクルサッカーは、フランクフルト近郊のクラブチームとの親善試合も行い調整した。

今回は若いチームを育てるという目的もあり、ファーストチームのケルビム東京(都築・松田)に加えPospisil Bikes(蓑原・前田)、第一経済大学(大松・濱)の2チームが同行した。

親善試合といえども、さすがにドイツはレベルが高く、ファーストチームにとってはいい調整と刺激になった。セカンド、サードチームは、ほとんど歯が立たなかったが、ドイツ選手のプレーを見ることができ、また合宿所での練習成果として、第一経済大学チームが最後に一勝したことは収穫であったように思われた。

大会は、サイクルサッカー競技に14カ国が出場し、前年の成績にしたがって、上位6ヶ国がAグループ、それ以外の8ヶ国をB1グループとB2グループに分けて実施された。Aグループは予選リーグを行い、そこから上位4ヶ国で決勝トーナメントを行って、世界一を決め

る。Bグループも予選リーグを行い、B1グループ1位とB2グループ1位でBグループ決勝戦を行う。その後、Aグループ下位2カ国とBグループ上位2カ国で入れ替え戦を行うことになる。

日本チームはルーマニア、マレーシア、オランダとB1グループで対戦し危なげなく全勝。B2グループ1位のクロアチアとBグループの優勝を掛け対戦し、前半から優位に立ち4対3で勝利し優勝を決めた。入れ替え戦ではドイツとは良い試合をしたものの敗戦。フランスとは惜しくも引き分け、Aグループへの昇格は成らなかった。この入れ替え戦のフランス戦で日本チームの都築選手が肋骨骨折し、後半途中退場となり、やむなく選手交代を強いられた。残り2分でのこの交替までは、日本が5対3でリードしており、そこから同点に追い付かれた、非常に残念な途中退場となった。

今回の結果から、Aグループ昇格も、もう目の前にあるように思える。ただ、Bグループの中にもクロアチア、ルーマニア、スロバキアなどが強くなってきており、油断はできない。また、Aグループのフランス以外の国とのレベル差は、まだまだ歴然としている。今後のAグループ昇格、そしてその維持には若い選手を育成し、日本選手全体のレベルアップが課題であると考ええる。

サイクルフィギュアは昨年まで連続優勝を続けていた男子シングル、マルチン・ローミンガー(ドイツ)が引退し、初めてチェコからアーノスト・ポコロニーが頂点に立った。男子シングルは、今まで圧倒的な強さを誇っていたドイツだが、チェコやマカオなど、ようやくドイツ以外の国からも強い選手が育

てきたようだ。

また、女子シングルでも、常に優勝争いを演じていた、アストリッド・ルカベリ(ドイツ)とマルチナ・ステパンコバ(チェコ)が引退し、ドイツの新しい旋風クラウド・ヴィエランドが優勝して注目を集めた。日本のサイクル

フィギュアは大会二日目の女子シングルに堀井和美と小野寺千春の2名が出場。堀井は持ち前の安定感のある演技で、世界選手権では自己最高の262.18と満足のいく内容で18位であった。小野寺は今年から就職し、十分な練習ができないままの大会で、257.73の20位に終わった。

最終日には男子シングル競技に佐浦裕行と芦田史朗が出場した。佐浦はここ数年演技が安定していたのだが、大会前に足首を捻挫し、十分な練習ができないまま、持ち点も少し抑えて大会に臨んだ。結果は258.73で17位であった。芦田は、昨年よりまた一段と持ち点を上げて297.00で参加した。点数は昨年を少し上回ったものの、大幅に減点され、253.55の19位に終わった。わずか3年でここまで持ち点を上げれる選手は今までいない。そう考えると、そろそろ来年ぐらいは演技も安定してくるだろうと期待は高まる。男子は持ち点は高いものの減点が大きすぎる。6分間の通した演技の練習が必要だと考える。

(監督 青戸 公一)

[競技結果]

女子サイクルフィギュア・シングル			
1	Claudia Wieland	GER	330.55
2	Corinna Hein	GER	325.65
3	Sarah Kohl	AUT	324.87
18	堀井 和美	JPN	262.18
20	小野寺千春	JPN	257.73

男子サイクルフィギュア・シングル			
1	Arnost Pokorny	CZE	334.75
2	Robin Hartmann	GER	332.30
3	Steffen Hain	GER	330.21
17	佐浦 裕行	JPN	258.73
19	芦田 史朗	JPN	253.55

サイクルサッカー			
1	Pavel Smid / Petr Skotak	CZE	
2	Paul Looser / Peter Jiricek	SUI	
3	Simon König / Dietmar Schneider	AUT	

都築 勝巳 / 松田 鋼 (JPN)

Bグループで1位となったが、A・Bグループ入れ替え戦の結果、Bグループの残留となった。

国際自転車競技連盟



第35回全日本室内選手権自転車競技選手権



サイクルフィギュア
優勝の芦田

筆者はこれまでに室内競技を観戦したことが無かったが、今回第35回全日本室内自転車競技選手権大会を取材する機会を得ることができた。今号は世界戦のレポートも掲載されているので、こちらは初心者向けにレポートしたい。

【サイクルサッカー】

サイクルサッカーの試合時間は7分・2ピリオド制(インターバルは2分)で、これは一見短いようにも感じられるが、ひとたび試合を観戦すればそれが如何に厳しい数字かということが判る。細かいダッシュとストップ(無酸素運動)の繰り返し、常時バランスを保たねばならない緊張感といい、経験の少ない選手ならば後半は完全に息切れしてしまい、大量点を相手に献上することになる。これが上位同士の対戦ともなれば白熱しており、スピード、選手同士の当りとも非常に激しい。直径18センチ、重さ500グラムほどの布製のボールは想像以上に硬く、激しいシュートがフロントのリムから放たれると、時にはパチーンと#14のスポークが切れる良い音がする。リヤリムのスポーク数は48本もあるが、それでも疲労のため頻繁に切れてしまうという。実際に試合中に切れることも珍しくない。

ルールは普通のサッカーと同じで、基本的にはそれほど難しいものではない。試合中落車や足をコートについたりした選手は競技権を失う。競技権回復には一旦自陣ゴールラインまで下がらなければならないが、プレーヤーは2名だからその際はかなり不利となってしまうため、ファール覚悟で試合を止めにいく場合も多々ある。そういった駆け引きも実に興味深い。従って攻撃の基本はボールキープと正確なパス

ワークであり、その中でチャンスを作り無理なゴールは狙わない。相手にボールをカットされた場合自陣ゴールが空となり、逆に相手チームのカウンター攻撃のチャンスとなってしまうからだ。世界選手権での負傷が癒えず、今回は残念ながら欠場となった日本代表の都築勝巳(ケルビム東京)によると、試合の技術は年々レベルアップしており、世界の強豪チームとの対戦ともなると早く正確なパスワークに翻弄されてしまうという。

そして今大会を制したのも、その言葉の通りスピードと技に一歩秀でていたピンキーズ大阪の宮本武彦、木下直也ペアであった。木下の早い動きと正確なパス回しから相手の隙をついて放たれる力強いシュート。ゴールを守りながらもここ一番の時には飛び出して相手のペダル下を抜く宮本の正確なシュートなど、組んで4年目で全日本初優勝というこのチームの活躍は、来シーズンに向けて更に期待できよう。

「初優勝はもちろん嬉しいが、それよりも今まで目指してきた先輩方を倒すことができたということに大きな意味がありました。決勝戦相手の日本通運とは昨年予選では勝っていたながら決勝リーグでは負けていて(前年は日通が優勝、ピンキーズは2位)ここ一番という時には力を出してくるチームなので、今年は気持ちを強くできるように練習を積んできました。」今年日通を二次リーグでも降して完全制覇となった宮本、木下ペアの談話である。

【サイクルフィギュア】

最初にサイクルフィギュアを簡単に説明しよう。選手にはまず基本点200点が与えられる。選手は約200種目あるという技の中から28種目までを事前に申告し、その技の難度点(難しい技ほど高い点となる)の合計を基本点に加えたものが、各選手の持ち点となる。選手は申告した技の通り6分間の演技を行い、その演技の完成度により判定される減点法によって採点される。すなわち持ち点290点の選手が、完璧な演技を制限時間内に行なえば、得点は290点となる。この技による持ち点制の減点方式は、体操競技に似ている。

男子はこの競技の国内第一人者で、日本選手権8連覇(通算10勝)中の佐浦

ひろゆき(東京輪球会)を、同じく今年の世界選手権代表で、昨年この大会2位の芦田史郎(アンフィニ京葉)が破って連覇を止めるという結果になった。佐浦の持ち点は298.00、芦田の持ち点は295.00であったが、芦田選手が1回目に277.20の自己ベストを出して初優勝を飾った。連勝の止まった佐浦であるが、これからも競技を続けていくとのことだ。また芦田も、まだ佐浦がこなせる技をすべて自分ができる訳でなく、より一層技術を磨いて佐浦選手とともに日本のフィギュア界のレベルを上げていきたいと語ってくれた。

女子は世界戦代表の堀井和美(京都C.F.Cブルーレイクエンジェル)が優勝、この大会3連覇で通算9勝目を飾った。8月のアジア戦で3位に入賞した宮崎沙織(東京輪球会・持ち点245.00)も安定した演技で236.60をマークしたが、持ち点268.80の堀井がそれを上回る安定した演技で自己ベストである264.40をマークして及ばなかった。

まだまだ競技人口が多いとは言えない日本の室内自転車競技であるが、日本室内自転車競技連盟(JFIC)の努力によりこの競技が発展していくことを期待したい。また、まだこの競技に触れたことがないという方々にも、一度会場へ足を運んでみることをお勧めする。サイクルサッカーの決勝戦まで、飽きることなく楽しめるだろう。

最後になりましたが今回の取材に当り、JFIC会長妙中義之会長を始めとする関係各位には、競技解説など多大なるご協力をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。(村田 隆宣)

【競技結果】

(12/11-12 東京工業大学体育館)

サイクルサッカー

- | | | |
|---|-------------|--------|
| 1 | ピンキーズ 大阪 | 宮本・木下 |
| 2 | 日本通運 | 山本・松本 |
| 3 | C.C.Kサテイツ K | 手島・現王園 |
| 4 | 福岡クラブ | 森永・福本 |
| 5 | チーム7 | 森・黒田 |
| 6 | 神戸アドバルコップ | 芦田・宮川 |

男子サイクルフィギュア

- | | | | |
|---|--------|---------|-------|
| 1 | 芦田 史郎 | アンフィニ京葉 | 277.2 |
| 2 | 佐浦ひろゆき | 東京輪球会 | 269.9 |
| 3 | 永井 隆 | 東京工業大学 | 236.4 |

女子サイクルフィギュア

- | | | | |
|---|-------|--------------------|-------|
| 1 | 堀井 和美 | 京滋C.F.Cブルーレイクエンジェル | 264.4 |
| 2 | 宮崎 沙織 | 東京輪球会 | 236.6 |

ツール・ド・おきなわ 2004



今年で16回目を迎えた国内最長距離のレース「ツール・ド・おきなわ」は、快晴の下、11月14日「名護市」で開催され、海外6チーム、国内14チームの99名が出走した。

朝7時にスタートし、しばらくは大集団のままであったが、25km過ぎから、ミコラジェクジ(ドミンズコート)綾部(ミヤタ)、清水(ブリヂストン)、中島(鹿屋体育大)の4名が抜け出し、48km地点の源河を過ぎる頃にはメイン集団から5分の差となった。その後もメイン集団には何ら仕掛ける動きはなく、70km過ぎの山岳コースの入口では、その差は7分へと広がった。

山岳コースに入るとシマノ勢が中心となりメイン集団を引っ張り始め、最大7分あった先頭との差は、100km過ぎでは4分、120km過ぎでは1分と縮まり、125km過ぎで先頭集団はメイン集団に吸収され、レースは振り出しに戻った。

ここからしばらくの間、先頭が目まぐるしく入れ代わる展開となったが、150km過ぎにワン・カンポー(ホンコンチャイナ)、ジェイコブ、トールース(カナダ)、ライ(チャイニーズタイペイ)、ホランズ(ジャイアント)、真鍋(ミヤタ)、鈴木真理、狩野、野寺(シマノ)、橋川(キナン)、福島晋一、福島康司(ブリヂストン)、新保光起、別府匠(愛三)が抜け出し、メイン集団から3分の差となり、優勝争いはこの14名に絞られた。

残り10kmでは、ワン・カンポー、ジェイコブ、トールース、ライ、橋川、福島晋一、新保、別府の8名に絞られ、ここから福島晋一が単独でアタックを仕掛け後続との差を最大20秒とするが、残り

7kmで追い付かれ先頭は再び8名の集団となった。

残り5kmで満を持していたかのように、ワン・カンポーが物凄いスピードでアタックを仕掛け、一気に後続との差を1分とし、第2集団はジェイコブ、福島晋一、新保の3名、第3集団はトールース、ライ、橋川、別府の4名となった。

ワン・カンポーは、残り2kmで後ろを振り返ると勝利を確信した表情でスピードを緩め、最後は両手を上げ2位に26秒差を付けて余裕のゴール。残り2kmでスプリント状態から抜け出した福島晋一が2位となった。レース後、「ツール・ド・おきなわ」4回目の優勝となったワン・カンポーは、「ブリヂストン、シマノ勢を警戒し、仕掛けるタイミングを計っていた。」とインタビューに答えていたが、優勝との2位の差はまさしく仕掛けるタイミングの差であった。

余談ではあるが、この「ツール・ド・おきなわ」は日本で最もアットホームとも言える大会であり、例年、レース後の表彰式は、このチャンピオンレースから市民レースに至るまで全てのカテゴリーに参加した選手達が一体となって「泡盛」を酌み交わしながら沖縄料理を楽しむといった、まさに「お祭り」である。今年は参加章として背中に「自転車人」と大きくプリントされたTシャツが配られたが、チャンピオンレースでなくとも、「自転車人」であれば一度は参加してみたい大会である。

(森尻 展充)



[競技結果]

男子フルタイム(200km)

- | | | | | |
|---|-------------|-----|--------|---------|
| 1 | WONG Kam Po | HKG | HKG | 4:58:08 |
| 2 | 福島 晋一 | JPN | ANCHOR | 4:58:34 |
| 3 | JACOB Erker | CAN | CANADA | 4:58:55 |



- | | | | | |
|----|------------------|-----|---------|---------|
| 4 | 新保 光起 | JPN | AISAN | 4:58:57 |
| 5 | LAI Kuan Hua | TPE | TPE | 4:59:18 |
| 6 | 別府 匠 | JPN | AISAN | 4:59:18 |
| 7 | 橋川 健 | JPN | KINAN | 4:59:18 |
| 8 | TOULOUSE Mathieu | CAN | CANADA | 4:59:18 |
| 9 | 狩野 智也 | JPN | SHIMANO | 4:59:22 |
| 10 | 真鍋 和幸 | JPN | miyata | 5:00:41 |

ジュニア120km国際レース(120km)

- | | | | | |
|----|--------------|-----|------|---------|
| 1 | 我妻 敏 | JPN | 学法石川 | 3:08:34 |
| 2 | 田中 武 | JPN | 石田高校 | 3:08:34 |
| 3 | 漆沢 均 | JPN | 紫波総高 | 3:08:34 |
| 4 | CHU Fan Hsin | TPE | TPE | 3:08:34 |
| 5 | 湯浅 徹 | JPN | 京葉工高 | 3:08:34 |
| 6 | 山本 雅之 | JPN | 北大和高 | 3:08:34 |
| 7 | 老田 龍海 | JPN | 北大和高 | 3:08:34 |
| 8 | 飯塚 航 | JPN | 前橋育英 | 3:08:34 |
| 9 | 石井 陽 | JPN | 花園高校 | 3:08:34 |
| 10 | 相川 将 | JPN | 川越工高 | 3:08:34 |

女子国際レース(50km)

- | | | | | |
|----|------------------|-----|--------|---------|
| 1 | JUN YOUNG KYOUNG | KOR | KOREA | 1:24:18 |
| 2 | CHOI HYE KYEONG | KOR | KOREA | 1:24:18 |
| 3 | YOISTEN LAURA | CAN | CANADA | 1:24:18 |
| 4 | HUANG Ho-Hsun | TPE | TPE | 1:24:18 |
| 5 | 西 加南子 | JPN | アクリル 和 | 1:24:18 |
| 6 | LEE Chien Jung | TPE | TPE | 1:24:18 |
| 7 | 坂田 佳子 | JPN | POLPO | 1:24:18 |
| 8 | 戸井麻里子 | JPN | なるしま | 1:24:18 |
| 9 | WONG WAN YIU | HKG | HKG | 1:24:18 |
| 10 | 長谷留美子 | JPN | ウイバノ | 1:24:18 |

‘ 04-05 UCIトラックワールドカップ第1戦モスクワ大会



2005ワールドカップ第1戦モスクワ大会の参加選手は、10月17日のチャレンジ・ザ・オリンピック後に決定された。

今大会の出場国は33ヶ国、大会期間は11月5日～7日。

11月2日、選手団は成田13時発エアロフロート576便で日本を出発し、17時40分モスクワ着。荷物をバスに積んでから競技場にへ向かい、荷物を降ろした。その後、ホテルへの到着は21時頃、モスクワは予想していた通り寒かった。

同行したメンバーは選手が北日本から3名、監督、メカニシャンと私との6名での参加となった。

選手は今回がワールドカップ初めての参加ということもあり、もちろん私も初めてで多少の不安もあったが、初出場とは思えぬような立派な走りであった。

競技成績は口開けとなったケイリンで、予選通過はならなかったものの果

敢な逃げに出て僅差の3着。敗者復活戦は予選の逃げで3着が脳裏をかすめたのか、消極的になり内に詰まったままで4着敗退となってしまった。

1kmTTでは及川裕奨が9位。スプリントは出場した2名とも予選を見事クリアして、結果は成田和也が4位。

チームスプリントは残念ながら最終日の練習中の事故で棄権することになってしまったが、そのうっぴんは第2戦で晴らしてもらえればと思う。



日本選手団第2戦、3戦、4戦、そして世界選手権がんばれ！心より応援している。（田中 剛）

[競技結果]

男子スプリント

1	RUBAN Sergey	RUS	
2	BAUGE Gregory	FRA	
3	MULDER Teun	NED	
4	成田 和也	JPN	
	榊枝 輝文	JPN	1/8決勝敗退

男子ケイリン

1	RUBAN Sergey	RUS	
2	BAUGE Gregory	FRA	
3	VRBA Ivan	CZE	
	成田 和也	JPN	予選敗退

男子1kmタイムトライアル

1	QUEALLY Jason	GBR	1:02.552
2	LAUSBERG Soren	GER	1:02.981
3	KANKOVSKY Alois	CZE	1:03.318
9	及川 裕奨	JPN	1:05.277



2004年-2005年 UCIトラック・ワールドカップ 第2戦 派遣選手団

場 所	アメリカ・ロサンゼルス
派遣期間	2004年12月6日～14日
大会期間	2004年12月10日～12日
選 手 団	
監 督	ゲーリー・ウエスト (JCFチームディレクター)
コーチ	班目 秀雄 (JCFコーチ)
メカニック	森 昭雄 (JCFスタッフ)
マッサージ	柳 浩史 (JCFスタッフ)
通 訳	増田恵美子 (JCFスタッフ)
選 手	榊枝 輝文 (JPCA福島)
	及川 裕奨 (JPCA岩手)
	内田 慶 (JPCA栃木)
	成田 和也 (JPCA福島)

2004年 ACCトラック・アジアカップ派遣選手団

場 所	タイ・バンコクおよびマレーシア・クアラルンプール
派遣期間	2004年12月5日～14日
大会期間	タイラウンド:2004年12月7日～8日 マレーシアラウンド:2004年12月10日～12日
選 手 団	
監 督	福田 公生 (JCFコーチ)
メカニック	鬼原 積 (JCFスタッフ)
マッサージ	石田 宗男 (JCFスタッフ)
選 手	田中 弘章 (JPCA福岡)・小泉 俊也 (JPCA岩手)
	渡邊 一成 (JPCA福島)・川村 崇 (東京)
	飯島 規之 (JPCA埼玉)・飯島 誠 (JPCA)
	佐藤 佑一 (岩手)・遠藤 友子 (大分)
	石井 寛子 (千葉)

2004 MTB ランキング

[MTB・クロスカントリー]

男子エリート

1位 野口 忍
京都(M)
891 p



E	氏名	所属	Cl	Point
2	竹谷 賢二	千葉	M	890
3	山口 孝徳	長野	M	847
4	色川 浩樹	茨城	E	832
5	松本 駿	長野	E	696
6	宇田川 聡仁	静岡	E	659
7	鈴木 雷太	長野	M	650
8	辻浦 圭一	奈良	E	647
9	小笠原 崇裕	長野	E	625
10	白石 真悟	大阪	E	585
11	小野寺 健	北海道	J	585
12	千田 尚孝	愛知	U	580
13	門田 基志	愛媛	E	547
14	堂城 賢	北海道	M	546
15	山本 和弘	北海道	U	526
16	深谷 幸彦	北海道	M	477
17	笹部 勝	大阪	E	459
18	森 和規	三重	U	458
19	リチャード・ナッブ	長野	M	457
20	藤本 弥之助	山口	E	450
21	山本 幸平	北海道	U	410
22	大矢 繁	兵庫	M	385
23	有井 雄二	東京	M	381
24	橋田 淳一郎	東京	M	378
25	山田 大五郎	福岡	E	373
26	角田 英朗	東京	M	356
27	柴田 健太郎	千葉	E	353
28	宮本 優	千葉	U	332
29	浜 久之	長野	M	327
30	後藤 清作	長野	E	323
31	湯本 優	千葉	E	322
32	佐藤 貴巳	大分	M	318
33	小林 聖	長野	M	315
34	武藤 常雄	愛知	M	308
35	神谷 知明	東京	M	296
36	佐藤 賢寿	東京	M	295
37	佐藤 あきら	愛知	U	293
38	横山 徹	神奈川	E	292
39	山辺 誠司	埼玉	E	289
40	田原 雅裕	神奈川	E	282
41	梅村 昌孝	福井	M	278
42	奥村 貴	熊本	E	270
43	竹之内 悠	京都	Y	268
44	合田 正之	埼玉	M	268
45	辻 義人	大阪	E	266
46	亀井 潤一	愛知	E	258
47	柴田 篤慶	愛知	M	257
48	大橋 穂高	山梨	U	248
49	三井 寿展	宮崎	M	247
50	久保 伸次	京都	M	242
51	武井 亨介	茨城	E	241
52	澤田 泰征	東京	M	238
53	佐藤 航太郎	神奈川	E	235
54	宮本 典彦	大阪	E	227
55	谷口 知司	神奈川	E	222
56	丹蔵 智治	滋賀	M	220
57	石黒 大樹	山形	M	217
58	榎本 太郎	福岡	M	213
59	沢田 雄一	長野	M	204

E	氏名	所属	Cl	Point
60	入江 克典	大阪	M	201
61	畦地 利哉	岐阜	M	201
62	八木田 健一	福島	M	188
63	金井 良樹	愛媛	E	184
64	元島 武文	長野	E	177
65	那須 宏幸	大阪	M	175
66	檀 拓磨	長野	M	173
67	太田 直秀	長野	M	173
68	松尾 和昌	福岡	E	169
69	内藤 浩司	三重	M	161
70	日向 俊行	埼玉	E	136
71	新井 孝典	神奈川	M	134
72	大音 雅裕	大阪	M	131
73	須藤 大輔	千葉	M	131
74	高井 佑介	埼玉	E	130
75	栗田 徳久	岡	M	129
76	マーカ・カー	長野	M	127
77	マイカ・クラック	東京	M	124
78	市川 哲也	広島	M	122
79	赤尾 健太郎	大分	E	120
80	小野 良太	兵庫	M	119
81	三上 和志	埼玉	M	116
82	鈴木 博信	鹿児島	M	116
83	北島 篤志	東京	E	114
84	宮本 光司	千葉	M	113
85	新木 勝利	岡山	M	110
86	酒井 孝典	大阪	M	109
87	村田 隆	長野	M	109
88	水上 今日史	富山	E	108
89	下田 洋二	福岡	M	107
90	菅 隆弘	大分	E	105
91	山本 聖吾	長野	U	104
92	都築 正浩	愛媛	M	103
93	藤森 大輝	香川	U	102
94	藤巻 浩二	岡山	M	102
95	中間 森太郎	埼玉	E	101
96	菅間 圭介	青森	M	98
97	中根 和肇	愛媛	E	98
98	角田 龍聖	広島	M	97
99	橋本 龍聖	熊本	Y	95
100	渡辺 清一	三重	E	95
101	世田 仁	東京	E	94
102	渡部 忍	宮崎	E	93
103	増田 順一	福岡	M	79
104	宮城 義一	奈良	M	79
105	木曾 将史	秋田	E	70
106	余語 賢司	愛知	M	69
107	河西 稔	山梨	M	67
108	初山 幸男	栃木	M	52
109	柿内 秀介	三重	M	50
110	高橋 聡一	大阪	E	49
111	佐々木 隆成	秋田	M	43
112	谷本 浩志	広島	M	42
113	紫芝 智志	愛媛	M	40
114	江下 健太郎	福岡	E	36
115	佐藤 剛	三重	M	36
116	近江 忠仁	京都	M	33
117	森山 聡彦	青森	M	33
118	森田 康史	神奈川	M	31
119	影山 善樹	茨城	E	29
120	叶 英樹	福島	M	22
121	佐宗 広明	東京	M	21
122	細井 陽介	岡山	E	19
123	松岡 靖之	京都	M	19
124	鈴木 良則	茨城	M	18
125	橋本 憲太郎	埼玉	U	18
126	広瀬 允	千葉	U	5
127	坂本 裕規	大阪	M	4

女子エリート

1位 片山 梨絵
神奈川(E)
1011 p



F	氏名	所属	Cl	Point
2	真下 正美	神奈川	E	845
3	中込 由香里	長野	M	840
4	高橋 いづみ	東京	M	785
5	田近 郁美	岐阜	M	763
6	深井 薫	大阪	M	738
7	長井 美香	京都	E	665
8	田崎 綾	千葉	M	649
9	矢沢 みつみ	山梨	M	592
10	岐部 容子	福岡	U	549
11	菊川 明子	岡山	U	545
12	狩俣 けい子	山梨	E	527
13	佐藤 百江	東京	E	499
14	伊藤 真里子	京都	M	455
15	池田 桂子	大阪	E	402
16	武田 美夕紀	愛媛	M	383
17	下田 邦子	福岡	M	336
18	内田 順子	東京	M	335
19	佐々木 優子	茨城	E	334
20	坂本 麻里	愛媛	M	318
21	齋藤 磨実	神奈川	E	311
22	志村 みち子	長野	M	243
23	中曾 綾香	福岡	E	219
24	小幡 直子	神奈川	E	162
25	西田 由香里	長野	M	153
26	山本 萌	北海道	Y	148
27	伊藤 幸恵	長野	E	144
28	佐藤 浩巳	茨城	M	87
29	酒井 真清	大阪	M	87
30	桜本 惠津子	宮城	E	87
31	大塚 麻理子	東京	M	81
32	大割 朋子	大阪	M	63

MTB クラス区分	
XC	DH
M : 30歳以上	M : 30歳以上
E : 23~29歳	E : 19~29歳
U : 19~22歳	J : 16~18歳
J : 17~18歳	Y : 15歳以下
Y : 16歳以下	



男子エキスパート						EX	氏名	所属	CI	Point	EX	氏名	所属	CI	Point	
						70	安地 勲	福岡	M	136	141	榊 泰将	愛知	M	46	
						71	古谷 利行	埼玉	M	134	142	池内 康太	栃木	M	45	
						72	堀江 俊輔	愛知	E	133	143	石山 恭央	長野	E	44	
						73	長谷部 雄太	愛知	M	131	144	楠本 正和	熊本	M	43	
						74	田沼 邦彦	埼玉	M	129	145	石田 聡	山口	E	42	
						75	山田 智	東京	M	126	146	的場 義広	神奈川	M	40	
						76	吉田 元	千葉	M	125	147	中野 貴文	茨城	M	39	
						77	寺田 真樹	宮崎	E	121	148	足立 文夫	神奈川	E	36	
						78	越智 直文	神奈川	M	113	149	吉田 聡	千葉	M	36	
						79	松本 秀樹	岡山	M	108	150	吉田 英二	山口	M	35	
						80	江部 敏	新潟	M	105	151	山口 高弘	大阪	M	35	
						81	名坂 竹彦	静岡	E	103	152	野崎 将広	福岡	M	34	
						82	澤口 伸	山形	M	99	153	腰山 和喜	愛知	M	31	
						83	木下 聡一	大阪	M	99	154	齋藤 史明	愛知	U	30	
						84	山木 誠一	山形	M	97	155	藤川 浩行	栃木	M	30	
						85	大橋 優	京都	M	95	156	上野 靖史	愛媛	E	30	
						86	永田 一義	岡山	M	95	157	大久保 忠紀	神奈川	M	29	
						87	重松 大輔	岡山	E	95	158	若林 高治	福井	M	28	
						88	増田 和久	長野	M	94	159	山中 晴彦	茨城	M	28	
						89	宮澤 潤	長野	M	93	160	西垣 内裕治	愛知	E	28	
						90	橋本 浩二	愛知	M	93	161	神内 精吾	香川	U	27	
						91	福田 宏夫	栃木	M	92	162	中村 健二	愛媛	E	26	
						92	伊藤 博彦	東京	M	89	163	赤堀 紀彦	愛知	M	25	
						93	道広 裕介	岡山	E	86	164	川中 直浩	長崎	M	23	
						94	朝見 聡	神奈川	E	86	165	大塚 将悟	東京	M	23	
						95	沖本 篤	山口	M	86	166	松田 清	神奈川	M	22	
						96	谷 泰久	高知	E	85	167	福原 洋介	神奈川	M	22	
						97	小池 智之	兵庫	M	83	168	川上 雄二	広島	M	21	
						98	西尾 滋記	愛媛	E	81	169	田中 通典	東京	M	20	
						99	中江川 純	神奈川	E	79	170	高倉 亮	東京	M	19	
						100	鈴木 良典	山梨	M	78	171	川越 憲粹	三重	E	18	
						101	福田 真平	神奈川	J	78	172	横田 正美	栃木	M	17	
						102	岡本 和也	栃木	M	78	173	小泉 信宏	埼玉	M	17	
						103	近藤 寛	神奈川	U	78	174	高芝 和弘	栃木	M	16	
						104	大橋 尚哉	千葉	M	76	175	秋山 慎吾	神奈川	U	15	
						105	田村 栄介	千葉	M	76	176	白井 清貴	東京	E	13	
						106	柴木 史行	群馬	E	76	177	熊本 大五郎	兵庫	M	12	
						107	溝淵 博	岡山	M	76	178	山本 直	広島	M	12	
						108	紺藤 政憲	和歌山	M	74	179	後藤 尚久	福岡	E	9	
						109	北森 哲也	東京	E	74	180	喜安 祥隆	愛媛	M	8	
						110	宮元 雅史	北海道	M	73	181	小林 朋和	愛知	M	7	
						111	田近 雄一	岐阜	M	72	182	瀬良 義孝	山口	M	7	
						112	向田 慎二	愛知	E	71	183	加藤 悟	埼玉	M	7	
						113	平野 正博	千葉	E	71	184	北島 寛	福岡	E	4	
						114	樺澤 正己	栃木	M	67	185	巴波 一郎	奈良	M	3	
						115	國分 圭二	三重	E	66	186	三野 拓也	香川	E	1	
						116	村田 誠	兵庫	M	66	187	吉永 誠	愛知	E	1	
						117	深井 一郎	大阪	M	66						
						118	渡辺 修一	愛知	M	66						
						119	内野 善文	山口	M	66						
						120	山本 鎮夫	北海道	M	65						
						121	泉名 雄介	兵庫	E	64						
						122	依田 卓也	東京	M	63						
						123	浦野 篤	埼玉	M	63						
						124	五味 隆登	東京	M	62						
						125	宇井 賢司	福井	M	60						
						126	岡 三津夫	大阪	M	59						
						127	伊藤 邦雄	千葉	M	57						
						128	小寺 敬司	三重	M	57						
						129	多田 俊彦	福岡	E	56						
						130	福島 政幸	福岡	M	54						
						131	香川 和行	岡山	U	54						
						132	三田 雅之	大阪	M	53						
						133	平岡 和也	愛媛	J	52						
						134	皆神 武史	茨城	M	52						
						135	山西 健司	埼玉	E	51						
						136	松本 開	岩手	M	51						
						137	宮本 泰典	徳島	M	49						
						138	川本 好忠	広島	M	48						
						139	房野 雅治	岡山	M	48						
						140	横井 敏明	京都	M	47						



男子スポーツ					SP	氏名	所属	Cl	Point	SP	氏名	所属	Cl	Point
					70	小林 和弘	埼玉	M	154	141	坂本 淳也	大分	M	45
					71	向平 博幸	奈良	E	152	142	田原 慎二	神奈川	U	44
					72	日下田 伸	東京	M	149	143	松嶋 太一	東京	E	43
					73	梶嶋 博徳	福岡	M	147	144	田中 直木	北海道	M	42
					74	岩本 栄作	広島	M	146	145	宇都宮 龍二	愛知	E	42
					75	河合 光彦	岐阜	U	143	146	多治見 智高	東京	Y	42
					76	渡辺 敦	愛知	M	142	147	佐藤 大輔	埼玉	E	41
					77	竹田 徳彦	山形	E	141	148	佐復 真人	千葉	E	41
					78	大橋 達矢	埼玉	E	141	149	北津留 修	福岡	M	39
					79	今泉 智仁	福島	M	138	150	淡田 浩道	兵庫	M	39
					80	福島 陽児	山梨	E	138	151	安達 靖	愛知	E	38
					81	堀 雄己	岡山	Y	137	152	長里 諭	愛知	U	38
					82	桑原 武哉	神奈川	M	136	153	古賀 善広	京都	M	38
					83	兼岩 良介	愛知	M	136	154	佐藤 史章	北海道	Y	37
					84	神崎 恒二	東京	E	130	155	森 顯文	神奈川	E	37
					85	古藤 雄市	埼玉	M	129	156	秋山 忍	岡山	M	37
					86	藏屋 剣士	東京	U	125	157	山本 兆	北海道	Y	35
					87	マウラ 亮	東京	M	123	158	山本 治文	埼玉	M	35
					88	橋本 広	栃木	M	119	159	鶴田 和久	愛知	M	34
					89	酒居 良和	広島	M	114	160	高橋 友一	秋田	M	33
					90	栗本 太記	広島	E	112	161	井上 健一	神奈川	M	33
					91	茂木 一輝	長野	M	112	162	佐々木 敏之	埼玉	E	33
					92	水谷 大介	千葉	M	111	163	柏崎 裕紀	群馬	E	32
					93	細川 浩孝	山口	E	111	164	伊澤 藤成	滋賀	M	32
					94	宮坂 雄大	長野	U	109	165	永井 稔	埼玉	M	31
					95	島村 秀明	岡山	M	107	166	松原 徹	山口	M	31
					96	佐野 貴樹	福岡	M	103	167	光山 明	茨城	M	30
					97	北山 大岡	大阪	E	102	168	平井 孝	愛知	E	30
					98	佐藤 浩史	京都	M	101	169	中嶋 敬	東京	E	29
					99	深澤 拓磨	福岡	U	100	170	町田 陽一	栃木	M	28
					100	大形 憲弘	山口	M	99	171	木本 基明	長野	U	27
					101	菅沼 大地	東京	J	96	172	今西 英雄	愛媛	M	25
					102	斎藤 禎	青森	M	95	173	金子 功	新潟	E	25
					103	福田 貴仁	宮城	U	94	174	中山 和也	長野	Y	24
					104	武田 和高	愛媛	M	92	175	前瀬 和顕	富山	M	24
					105	棟保 祐介	兵庫	E	90	176	奈良 省吾	富山	M	23
					106	吉田 唯	宮崎	M	89	177	田村 隆行	岡山	E	23
					107	野澤 和紀	埼玉	M	88	178	伊藤 孝男	宮城	M	22
					108	木村 千也	千葉	M	87	179	西村 建治	広島	M	22
					109	長里 雅也	愛知	Y	85	180	峰江 裕一郎	北海道	M	21
					110	村上 玲	広島	E	82	181	田中比呂喜	長野	E	21
					111	栗本 康記	東京	M	81	182	樋本 清一	岩手	M	21
					112	榛葉 賢二	静岡	E	80	183	永田 貞晴	福岡	M	20
					113	池田 仁司	愛媛	M	80	184	岸本 康敬	岡山	M	20
					114	佐藤 宗崇	兵庫	M	79	185	能登 寛	岡山	E	19
					115	青波 政洋	愛媛	M	78	186	滝下 泰民	神奈川	M	19
					116	高野 芳映	福岡	M	75	187	大久保 憲	宮城	U	18
					117	藤井 奨	宮城	M	74	188	二反田 雄一郎	長野	M	18
					118	谷 淳一	東京	M	73	189	鈴木 裕	福島	M	17
					119	福本 康	大阪	M	73	190	中平 悟	青森	M	17
					120	佐川 広行	愛媛	M	70	191	安平 好輝	千葉	E	17
					121	福島 正典	福岡	M	67	192	系数 昌史	栃木	E	15
					122	井上 徹	愛知	M	66	193	宮本 和寿	京都	E	15
					123	淮田 一磨	神奈川	M	65	194	濱田 勝彦	大阪	M	15
					124	吉村 祐樹	福岡	M	64	195	増永 康己	兵庫	E	15
					125	梶嶋 浩二	福岡	M	62	196	杉本 英司	千葉	M	14
					126	山崎 武司	北海道	M	62	197	大森 英貴	大阪	M	14
					127	古蘭 祐介	鹿児島	E	62	198	山崎 宣之	大群	E	14
					128	半田 豊	長野	M	60	199	永島 靖久	山形	M	14
					129	下館 政和	岩手	E	58	200	塩見 雅人	山梨	M	13
					130	長束 貴之	北海道	M	57	201	松田 信介	東京	M	13
					131	三谷 一道	広島	E	57	202	河合 暁雄	愛知	E	12
					132	真弓 力	三重	E	56	203	松並 俊雄	東京	M	12
					133	大沼 理通	宮城	M	52	204	坂田 秀貴	奈良	M	12
					134	栗林 和生	愛媛	M	51	205	菅野 邦明	愛媛	M	10
					135	松尾 内助	新潟	M	50	206	伊藤 学	秋田	M	10
					136	工ツカ 比ガリ	徳島	M	50	207	林 孝次	東京	M	10
					137	黒岩 靖	兵庫	E	50	208	双木 勝男	埼玉	M	10
					138	福森 淳治	岐阜	M	49	209	高橋 琢志	愛媛	M	9
					139	福田 翔太郎	熊本	Y	45	210	照井 琢磨	愛媛	M	9
					140	齋藤 徹	福岡	M	45	211	玉谷 幸太	広島	M	9

SP	氏名	所属	Cl	Point
212	谷本 靖忠	滋賀	E	8
213	本間 隆	山形	M	8
214	小黑 敏武	東京都	M	8
215	中原健一郎	福岡	M	8
216	中村 晃裕	大阪	M	7
217	寺本 丈二	大崎	E	7
218	野中 伸也	福岡	M	7
219	三浦 直樹	福岡	M	7
220	清水川 辰	秋田	Y	6
221	江利山元気	青森	E	5
222	河野 勲	島根	M	5
223	永沼 正	宮城	M	4
224	樋口 芳弘	山形	M	4
225	黒野 治正	東京都	M	4
226	仲井 勇磨	広島	J	4
227	久保 治也	愛媛	M	2
228	新堀 哲也	茨城	M	2
229	林 浩嗣	福岡	M	2
230	稲田 茂	富山	M	1
231	日野 泰寛	神奈川	U	1
232	長嶺 浩	栃木	M	1
233	小嶋 高德	高知	M	1

女子スポーツ

SP	氏名	所属	Cl	Point
1	埜真 賢美	岡山	Y	800
2	小川真由美	香川	M	645
3	丸山八智代	長野	M	629
4	正木 知子	兵庫	M	612
5	高瀬クララ	東京都	M	499
6	橋本 夏姫	熊本	Y	440
7	光田 真基	三重	E	425
8	一之瀬幹子	長野	M	370
9	森永 知子	滋賀	M	350
10	伊坂 和花	兵庫	E	308
11	三浦 美穂	福岡	Y	285
12	本間 公子	秋田	M	265
13	村上 未希	愛媛	Y	246
14	喜安万里子	愛媛	E	210
15	匂坂 怜加	千葉	U	196
16	藤田 佳子	宮崎	E	192
17	越智沙耶花	愛媛	E	182
18	関根 舞	栃木	J	94
19	松原由美子	大阪	M	94
20	松田ゆかり	愛媛	E	50

[MTB・ダウンヒル]

男子エリート

1位 安達 靖
愛知(E)
752 p



E	氏名	所属	Cl	Point
2	内嶋 亮	東京都	E	743
3	丸山 弘起	長野	E	607
4	井手川直樹	広島	E	585
5	竹本 将史	埼玉	E	544
6	鍋島 健一	福岡	M	475
7	高橋 唯之	福島	E	469
8	金子 真吾	北海道	E	445
9	向原 健司	大阪	E	442
10	大島 礼治	兵庫	E	437
11	加納慎一郎	山梨	E	433
12	柴田 幸治	神奈川	E	431
13	塚本 岳	埼玉	M	430
14	丸山由紀夫	愛知	E	399
15	岩瀬 信彦	埼玉	M	390
16	河合 暎延	愛知	E	380
17	三宅 和之	埼玉	M	341
18	朝日 昌彦	埼玉	E	340
19	和田 良平	兵庫	E	331
20	栗瀬 裕太	大阪	E	321
21	河合 良紀	三重	M	304
22	及川 功申	岩手	E	293
23	伊田井佐夫	東京都	M	268
24	東 裕一郎	石川	M	241
25	増田 直樹	滋賀	E	229
26	上原 丈史	長野	E	228
27	赤堀 吉功	岐阜	M	226
28	青木 卓也	東京都	E	223
29	加茂 雅裕	兵庫	M	222
30	伊藤 雅人	北海道	E	219
31	猪俣 康一	神奈川	E	216
32	三山 孝幸	石川	M	210
33	渡辺 勇大	静岡	E	203
34	角野 正樹	山梨	M	203
35	永田 隼也	神奈川	Y	201
36	伊藤 良高	愛知	E	200
37	岩手 信	和歌山	E	195
38	淵野 厚志	静岡	E	187

E	氏名	所属	Cl	Point
39	兼子雄一郎	愛知	E	186
40	寺本 俊介	三重	E	186
41	八巻 守仁	山形	E	182
42	青柳修一郎	東京都	E	179
43	伊藤 康喜	東京都	M	178
44	安藤 功治	山梨	E	171
45	吉田 亮	新潟	E	171
46	三輪 和弘	神奈川	M	170
47	黒川陽二郎	石川	E	162
48	武井怜緒	東京都	E	162
49	阿藤 寛	大阪	E	158
50	吉田 潤	新潟	E	157
51	西上 光法	大阪	E	154
52	今中 隆介	東京都	M	148
53	荒金 知史	兵庫	E	146
54	渡辺 濃	神奈川	E	146
55	山本 明	兵庫	M	143
56	鈴木 正司	京都	M	137
57	大友 浩一	山形	M	136
58	今中 伸介	東京都	M	134
59	成島 紀晶	茨城	M	130
60	斉藤 邦一	東京	E	130
61	小鷹 吉国	埼玉	E	125
62	西村 智彦	大阪	M	123
63	三瓶 敏彦	福島	E	118
64	関 誠利	宮城	M	117
65	長内 明人	静岡	E	116
66	浅田 亨	岡谷	E	115
67	牧野 将勅	兵庫	E	115
68	春山 聡志	長野	J	114
69	山崎 勉	栃木	M	114
70	池田 隆之	東京都	M	113
71	佐々木善典	岩手	M	112
72	鎌田 勝	大阪	M	112
73	柳澤 誠	東京都	M	110
74	熊野 賢	愛知	E	109
75	長内 知人	静岡	E	108
76	川村 浩明	宮城	M	106
77	大窪 貴之	兵庫	E	103
78	福富 哲也	栃木	E	100
79	赤澤 勝誠	岡山	E	99
80	福田 誠	神奈川	M	97
81	高橋 大	新潟	E	95
82	林 正樹	岐阜	E	92
83	本村 貴之	福岡	M	92
84	東 裕二郎	石川	M	91
85	桜井 孝太	新潟	J	90
86	高力 俊宏	大阪	M	88
87	西脇 引之	新潟	M	86
88	山中 剛	大阪	M	85
89	海老根 拓	東京都	E	74
90	岡 修平	大阪	E	60
91	西尾 覚	新潟	M	58
92	上野 好弘	長野	M	58
93	ホー・ル・ギル・ナ	茨城	E	55
94	高羽英士朗	愛知	E	53
95	菊池 司人	千葉	E	52
96	高松 健二	兵庫	E	48
97	中山 光治	宮城	M	46
98	野口 寛洋	岐阜	E	39
99	片柳 晃	栃木	M	36
100	丸小野信男	大阪	M	36
101	佐藤 守	宮城	M	35
102	中沢 政満	新潟	M	33
103	及川 志功	岩手	M	33
104	細貝 浩治	埼玉	E	30
105	鳥塚 康史	東京都	M	10



女子エリート



1位 末政 実緒
兵庫(E)
780 p

F	氏名	所属	Cl	Point
2	猪俣 浩子	神奈川	E	719
3	鴨下 美穂	神奈川	J	674
4	服部 良子	神奈川	E	567
5	福本 弘佳	兵庫	M	542
6	田崎 綾	千葉	M	511
7	大西 雅美	兵庫	E	510
8	壽 弥生	岩手	M	468
9	岡崎 早苗	京都	M	449
10	富田 敬子	奈良	E	434
11	渡辺 幸代	長野	M	272
12	大松 幸代	福岡	E	224
13	飯塚 朋子	大阪	E	206
14	堀田 直子	愛知	E	111
15	久保 行子	神奈川	M	41



男子エキスパート

EX	氏名	所属	Cl	Point
1	松永 貴敏	大阪	M	465
2	門脇 祥	新潟	Y	456
3	神戸 明	愛知	E	427
4	波多野 真弘	愛知	M	377
5	有村 俊彦	神奈川	M	350
6	松田 敦司	神奈川	E	349
7	河津 英樹	愛知	E	346
8	沖田 勝秀	神奈川	M	337
9	天野 雅人	愛知	E	336
10	竹内 豪	兵庫	E	329
11	野川 晴彦	東京	E	314
12	河野 鉄平	福岡	E	314
13	佐藤 宗彦	東京	E	311
14	嶋 達也	富山	M	295
15	植田 篤	兵庫	E	286
16	山崎 真嗣	滋賀	E	286
17	實川とをもを	東京	E	285
18	鈴木 悟史	石川	E	279
19	山村 優介	兵庫	E	279
20	山口 弘貴	岐阜	M	275
21	秋山 耕平	東京	M	265
22	戸田 尚哉	滋賀	M	260
23	飯田 隆彦	東京	Y	260
24	船山 浩幸	宮城	M	258
25	三浦 恭敬	神奈川	M	255
26	若林 正幸	東京	M	255
27	石丸 吉樹	三重	M	244
28	池澤 宜昭	栃木	E	241

EX	氏名	所属	Cl	Point	EX	氏名	所属	Cl	Point
29	五十嵐 勇樹	神奈川	Y	234	100	内山 涉	大阪	M	75
30	樋口 一博	広島	M	233	101	平田 基次	広島	E	75
31	大矢 哲一	神奈川	E	224	102	秋山 史彦	岡山	M	73
32	楢本 哲也	兵庫	E	221	103	岩渕 史彦	山手	E	71
33	阿部 吉邦	大阪	M	220	104	松本 圭	東京	E	71
34	吉川 寛基	愛知	E	220	105	米村 務	広島	E	70
35	倉口 大	大阪	M	213	106	中山 克利	富山	M	69
36	谷 史朗	奈良	M	213	107	鈴木 徹郎	神奈川	M	66
37	坂木 貴司	広島	M	208	108	山田 武仁	山形	M	65
38	松口 祥崇	大阪	E	204	109	渡邊 浩己	東京	M	65
39	若井 慶太	新潟	Y	201	110	小川原 圭太	埼玉	E	64
40	藤村 浩臣	山口	M	187	111	石井 將嗣	新潟	E	64
41	小川 信一郎	新潟	M	185	112	時任 淳	神奈川	M	63
42	宮本 研一	高知	M	184	113	山田 晃生	神奈川	M	63
43	志賀 孝治	山口	E	179	114	今坂 純也	神奈川	M	62
44	谷口 晴彦	石川	E	178	115	荻島 聡	埼玉	M	61
45	大村 寿男	栃木	M	176	116	神戸 智	兵庫	M	59
46	小山 航	長野	J	174	117	阿部 真太郎	秋田	E	58
47	遠藤 和光	東京	M	173	118	小倉 幸弘	千葉	M	56
48	山元 春雄	富山	M	173	119	大熊 健敬	埼玉	M	56
49	土屋 清之	茨城	M	170	120	渡邊 貴貴	東京	M	55
50	石崎 裕	神奈川	M	169	121	田井 一雄	岡山	M	54
51	濱田 雄二	群馬	E	168	122	金子 博文	富山	M	52
52	祖田 輝之	東京	M	164	123	田中 聡史	京都	M	51
53	高篠 憲司	埼玉	M	161	124	村井 義之	秋田	M	50
54	小林 篤史	大阪	E	160	125	皆藤 研一	茨城	M	49
55	高篠 博久	神奈川	M	154	126	宇津野 和昭	大阪	E	48
56	村岡 優年	群馬	M	150	127	佐伯 拓也	埼玉	M	48
57	杉江 由尚	愛知	E	149	128	村上 賢一	富山	M	47
58	平田 哲教	愛知	M	143	129	長谷川 博一	富山	E	47
59	鳴海 一世	栃木	E	143	130	金田 拓也	長野	E	46
60	館 隆	栃木	M	140	131	嚮田 好博	富山	M	45
61	岩崎 篤士	茨城	E	140	132	小玉 和博	神奈川	M	44
62	世登 靖	大阪	M	139	133	能島 光明	岡山	M	43
63	峰江 裕一郎	北海道	M	134	134	林 勝浩	大阪	E	41
64	澤辺 徳明	東京	M	134	135	島津 利卓	大石	E	40
65	池澤 誠	栃木	M	128	136	高橋 弘幸	新潟	E	40
66	平林 剛	長野	M	125	137	仲 雅康	大阪	M	40
67	田岡 辰章	広島	E	124	138	上野 靖史	愛知	E	39
68	川口 浩二	静岡	E	124	139	南 篤志	兵庫	M	38
69	北崎 友和	大阪	E	124	140	市川 純雄	神奈川	M	38
70	渡辺 修一	愛知	M	123	141	関口 大輔	千葉	M	37
71	井関 猛	滋賀	M	123	142	松本 純一	東京	M	37
72	深堀 俊之	埼玉	M	123	143	朝倉 幸雄	兵庫	M	37
73	齋藤 修	栃木	M	122	144	柳原 祐貴	静岡	E	36
74	中筋 弘樹	大阪	M	117	145	西山 典秀	岐阜	E	35
75	木村 光好	東京	M	116	146	小島 省吾	愛知	M	35
76	石渡 彰	神奈川	E	114	147	野本 裕貴	広島	E	34
77	石立 守利	東京	M	113	148	名合 大輔	大阪	M	34
78	大森 哲史	千葉	M	112	149	井上 暁	大阪	E	30
79	飯塚 智史	茨城	E	108	150	篠原 千明	東京	M	30
80	塚本 智洋	愛知	J	105	151	替地 理揮	神奈川	M	28
81	古性 優作	大阪	Y	102	152	吉見 成正	静岡	M	25
82	河井 裕介	愛知	M	102	153	鈴木 利章	東京	E	23
83	喜安 祥隆	愛知	M	102	154	木名瀬 克明	神奈川	M	23
84	山崎 一昭	岩手	M	101	155	作山 義彦	岩手	M	20
85	藤岡 俊宏	広島	E	100	156	長永 悦訓	兵庫	M	20
86	澤 龍太郎	大阪	E	100	157	伊藤 税	宮城	M	20
87	小林 嗣治	広島	M	96	158	大塚 裕一	岐阜	M	18
88	松岡 学	神奈川	M	92	159	佐藤 敏則	岩手	M	16
89	田村 隆章	東京	M	90	160	北島 栄誠	新潟	M	15
90	兼岩 良介	愛知	M	89	161	永野 哲司	埼玉	M	15
91	伊津 宏俊	新潟	M	89	162	前瀬 和顕	富山	M	15
92	工藤 英昭	岩手	M	88	163	谷川 徹	広島	M	14
93	武氏 宗平	大阪	E	87	164	田辺 浩司	埼玉	M	12
94	田中 洋	兵庫	M	85	165	川崎 俊明	静岡	E	11
95	弦牧 篤	大阪	E	84	166	久保 和範	三重	E	10
96	島田 潤一	富山	M	84	167	佐多 健太郎	埼玉	E	7
97	松山 博太	石川	E	79	168	柿沢 承夫	埼玉	E	1
98	松田 英樹	富山	M	77	169	大西 英二	岐阜	M	1
99	松下 壽	静岡	E	76	170	孫田 岳夫	宮城	M	1

男子スポーツ

SP	氏名	所属	Cl	Point
70	松本 陵	群馬	馬	E 109
71	大川 和信	大阪	京	E 106
72	中村 正宏	東大	東	E 105
73	加藤 隆啓	北海道	北	Y 102
74	富樫 浩平	北海道	北	E 100
75	黒川 優樹	東京	東	E 100
76	三輪 隆文	福岡	福	Y 100
77	武藤 哲聖	岡山	岡	E 99
78	屋久 豪司	富山	富	E 99
79	柳田 經典	神奈川	神	E 98
80	荒木 斗生	島根	島	E 97
81	藤塚 洋	富山	富	M 96
82	仁藤 竜一	福井	福	M 90
83	佐藤 司	秋田	秋	M 87
84	藤井 竜象	京都	京	M 84
85	岡部 明典	岡山	岡	M 81
86	風間 直人	秋田	秋	E 81
87	河野 秀幸	茨城	茨	E 81
88	海谷 勇	宮城	宮	E 78
89	谷 弘昭	富山	富	M 78
90	稲葉 昌弘	静岡	静	M 75
91	中村 好宏	福岡	福	M 74
92	久留宮 智仁	山梨	山	M 73
93	中沢 清	東京	東	M 73
94	佐藤 昌行	大阪	大	M 70
95	竹中 康幸	岐阜	岐	M 70
96	高岡 弘	和歌山	和	M 69
97	大塚 智文	石川	石	M 68
98	森谷 和広	東京	東	E 66
99	岡村 秀重	栃木	栃	M 65
100	照井 一文	北海道	北	M 65
101	川山 慎吾	大阪	大	E 65
102	井原 正樹	長野	長	M 62
103	井上 健一	神奈川	神	M 59
104	山田 満	埼玉	埼	M 53
105	橋村 健一	島根	島	E 51
106	近藤 智之	埼玉	埼	E 50
107	望月 正	新潟	新	M 47
108	山田 賢作	広島	広	E 44
109	マクル・ライス	東京	東	M 42
110	田中嶋英二	東京	東	M 42
111	上杉 俊輔	大阪	大	E 41
112	蛭田 和幸	栃木	栃	M 40
113	池田 遼太	群馬	群	J 38
114	上野 洋	大阪	大	E 36
115	金刺 誠	東京	東	M 35
116	柳楽 優多	島根	島	E 34
117	松本 貴広	埼玉	埼	M 34
118	岡谷 武史	広島	広	M 33
119	広瀬 雄太	兵庫	兵	E 24
120	青野 力	東京	東	E 23
121	佐々木 宝	秋田	秋	E 20
122	坂田 純一	埼玉	埼	E 18
123	藤原 天彰	京都	京	E 15
124	弥永 洋輔	東京	東	J 14
125	鈴木 直樹	東京	東	M 10
126	清水 学	大阪	大	E 8
127	青山 安彦	神奈川	神	M 1

女子スポーツ

SP	氏名	所属	Cl	Point
1	楳本百合子	兵庫	兵	M 525
2	松田美紀子	富山	富	M 465
3	前 さつき	大阪	大	E 447
4	平出 優樹	長野	長	E 421
5	佐藤 尚子	大阪	大	E 240
6	中垣 玲	大阪	大	E 236
7	関根 舞	栃木	栃	J 102
8	小椋美由紀	東京	東	M 98

競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

シクリスムエコーシリーズ 第1戦

(10/17 北海道・長沼)

リト男子

- 1 内山 靖樹 ミヤパ'ルレーシング 58:56
- 2 深谷 幸彦 MXストーク 58:59
- 3 山田 夏樹 GAS PANIC SP 1:04:06

シクリスムエコーシリーズ 第2戦

(11/14 富山・黒部)

リト男子

- 1 辻浦 圭一 チーム'リザ'ストン'アンカー 1:00:27
- 2 小坂 正則 スパコレーシング チーム 1:00:30
- 3 三船 雅彦 ミヤパ'ルR 1:03:09

U23

- 1 山本 聖吾 チーム 轟 1:06:19
- 2 飯塚 隆文 スパコレーシング -1lap
- 3 山本 幸平 キャノンデール・マキス -1lap

リト女子

- 1 真下 正美 sy-Nak 43:46
- 2 志村みち子 イキッ'あずみの 46:03
- 3 田近 郁美 BRIDLER 46:36

シクリスムエコーシリーズ 第3戦

(11/21 長野・富士見)

リト男子

- 1 小坂 正則 スパコレーシング チーム 54:57
- 2 丸山 厚 スパコレーシング チーム 57:17
- 3 内山 靖樹 ミヤパ'ルレーシング 58:05

U23

- 1 山本 幸平 キャノンデール・マキス 56:59
- 2 山本 聖吾 Team 轟 59:55
- 3 飯塚 隆文 スパコレーシング チーム -1lap

リト女子

- 1 真下 正美 sy-Nak 45:10
- 2 田近 郁美 BRIDLER 45:41
- 3 志村みち子 イキッ'あずみの -1lap

シクリスムエコーシリーズ 第4戦

(11/28 滋賀・野洲川)

リト男子

- 1 辻浦 圭一 チーム'リザ'ストン'アンカー 57:05
- 2 小坂 正則 スパコレーシング チーム 58:08
- 3 三船 雅彦 ミヤパ'ルR 58:21

U23

- 1 辻 善光 立命館大学 1:01:19
- 2 山本 聖吾 Team 轟 1:02:58
- 3 飯塚 隆文 スパコレーシング チーム 1:03:35

リト女子

- 1 真下 正美 sy-Nak 38:17
- 2 深井 薫 GARY FISHER 40:38
- 3 伊藤真里子 TEAM 脚'ン 40:53

(財)日本体育協会公認B級コーチ養成専門科目講習会開催される

去る11月5日から7日と11月19日から21日のあわせて6日間の日程で静岡県伊豆市日本サイクルスポーツセンター、サイテル、日本競輪学校においてB級コーチ養成専門科目講習会が行われ、受講資格を持った24名が参加した。

また、平成17年度より(財)日本体育協会公認スポーツ指導者資格制度が変わります。詳しくは(財)日本体育協会ウェブサイト(<http://www.japan-sports.or.jp/>)をご覧ください。



登録者のアンチ・ドーピング検査規則に係る処分について

平成16年11月11日
アンチドーピング委員会

- 1 事由 戸井麻里子(埼玉県)は、平成16年10月23日、栃木県宇都宮市で行われた2004年ジャパン・カップ・サイクルロードレース大会におけるアンチドーピング検査の際、検査対象となったにもかかわらず、自己の責任において対象者の確認をせず、結果として規定時間におくれて検査室に出頭した。
- 2 決定 当該者に対して警告を与え、罰金5,000円を科す。
本連盟に登録する競技者は、登録者規程第1条にあるように、競技規則をはじめ諸規程およびUCI規則を順守しなければならない。特にアンチドーピングについては、本連盟登録者規程第2条に「競技に際して、特にドーピングまたは暴力行為などによりフェアプレーの精神に明らかに違反してはならない。」とあるように、厳しく定められている。アンチドーピング検査規則においては、検査への不出頭はドーピング行為と同等とみなされる重大な違反行為である。ここに厳重な警告を与え、罰金を科すことにより、本人の猛省を促す。今後、競技に参加するに当たっては諸規則を理解の上、十分に注意して臨むように指導する。
- 3 適用条項 UCIアンチドーピング検査規則第72条および132条、JCF競技規則第99条 8(2)④

さいたま国体で国体10回以上出場者の表彰が行われた。

高橋 秀作(秋田・秋田県埋蔵文化センター)

坂口 博(愛知・愛三工業)

楠本 正昭(愛知・愛三工業)

柴崎 淳 WCCに入学

11月に柴崎 淳(三重・朝明高校3年生)がWCC(ワールドサイクリングセンター:スイス)に入学した。留学期間は平成17年3月末まで。日本選手としてはWCC開校以来、大森慶一、永井清史、北津留翼に続いて4人目となる。

CCC修善寺トレーニングキャンプ

コンチネンタル・サイクリング・センター・修善寺(CCC修善寺)では、2002年4月開設以来、アジア地域の選手のためにトレーニングキャンプを実施しているが、今回は11月12日から25日、香港のジュニア選手が参加して開催された。



連盟の動き(11月中旬~12月中旬)

- | | | |
|--------|-------------------------------|-----------------------------|
| 11月19日 | 日本体育協会公認自転車競技B級コーチ養成専門科目後期講習会 | 於:静岡・日本CSC他(~21日) |
| 21日 | トラック短距離強化合宿 | 於:東京・JISS国立スポーツ科学センター(~23日) |
| 23日 | ツール・ド・とうほく検討委員会 | 於:宮城・仙台 |
| 12月1日 | 平成16年度第1回国際推進部会 | |
| 5日 | ACCTトラックアジアカップ日本代表選手団出発 | 於:タイ及びマレーシア(帰国14日) |
| 6日 | UCIトラックワールドカップ第2戦日本代表選手団出発 | 於:アメリカ・ロサンゼルス(帰国14日) |
| 7日 | 平成16年度第3回財政部会 | |
| 14日 | 平成16年度第1回連絡協議会 | |



シクリスムエコー No.114 2004年12月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯昭一

編集人/加藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL <http://www.jcf.or.jp/>

JCF協賛スポンサー

